対応)。

④取りに貼ったタイル■を集めて「５の入れ物」「１０の入れ物」に入れる。タイルの数を数字でタイルの近くに書く。

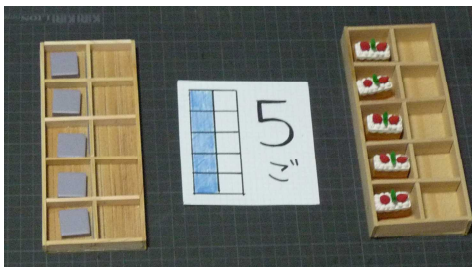
こうして、モノの個数をタイルと数で示します：

鳥鳥鳥　→　■■■　→　３(さん)

⑤絵本の中に、鳥かごの絵があります。始め５羽入っていて、１羽ずつ鳥かごの外に出て行きます。鳥かごの中の鳥の数は、

５，４，３，２，１，０

となります。こうやって「助走をつけて」０(れい)を導入します。



写真は　数え箱（タイルを入れた）、数のカード、数え箱（モノを入れた）

⑥５個で「５のかたまり」とします。タイルの入れ物が、小さい方は５個入りになっているのは、そのためです。「５のかたまり」が２つで「じゅう(十)」です。十が２本で「にじゅう」、３本で「よんじゅう」…となります。１０とか２０と書かなかったのは、これは「十進位取り記数法」といって、きちんと教えないと誤解を招くからです。(十進位取り記数法の学習は、小学校に入ってからします。)　ここではまず、たとえば「２３」は、「じゅうのタイルが２本と１のタイルが３個」のように呼ぶことにします。そのあと「２３」と書くことも、必要な限り、教えます(必要になるのは、すごろくでサイコロの目が１２とか２０のサイコロをつかうときです)。

【準備するもの】絵本『はじめてであうすうがくのえほん２』、その中のいくつかのページをコピーしたもの、ホワイトボード(またはスチール黒板)、マーカー、木タイル(裏にマグネットシートを貼ったもの)、数え箱、数のカード。

【留意すること】

・絵の拡大コピーをスチール黒板に貼って、それぞれの馬にタイルを１個ずつ貼り、「もう馬はいない」ことを確認してから、タイルを集めて、かぞえます。**かぞえるとき、「いち、に、さん…」と声を出しながら、指でも数を示します。**

・数称はほとんどの子が９まで言えるようです。０は、さいきん、「ゼロ」という子が多い。ゼロでもかまわないと思いますが、日本語では**「れい」**です。「れい」も教えます。４は**「し」と「よん」**と二通りあります。７も**「なな」と「しち」**と二通りあります。両方とも教えます。「いち、に、さん、し、…」という**ひらがな表示**もしますが、おぼえさせる必要はありません。提示しているうちに、自然に読めるようになればよいのです。数字と読み方（数詞）とタイルの３通りの表示を合わせて使います。

・タイルを黒板に貼るとき、枠を使って７は５と２のように二段に並べる：

□□□□□　　←ほんとうは、隙間を空けない

□□

【保育士の感想】①絵の上にタイルを置いて、②それをタイルの入れ物に入れ、③同じ数のカードを見つける、という流れがはじめ私の中で分かっていなくて、先に数のカードを探してしまいました。正しいやり方でやると流れがしっかりでき、タイルと同じ数のカードを見つけることが出来、よりいっそう子ども達も分かりやすかった様に感じました。教え方で子ども達も違うのだということがわかり、勉強になりました。

「さんすうあそび」題材解説　№ 12　**ボール投げ・得点ゲーム**

2013.08.02　矢沢国光

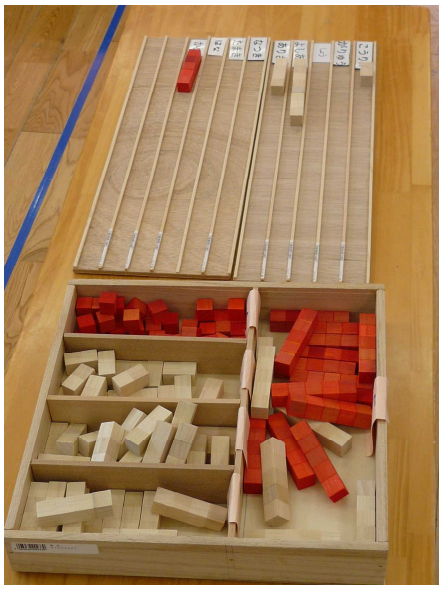
［１］どんな遊びか

・ボール（紙をまるめたもの）を段ボールで作った箱に投げ入れて、得点を競います。箱は仕切ってお置いて、ボールが入った場所で１～９の得点を与えます。

［２］ねらい

・高い得点を得るために、投げ方を工夫したり、他の人のやり方をまねしたり、助言したりして、ゲームが楽しい雰囲気で盛り上がるようにします。

・得点を、「数のカード」を参照して、キューブ（６は５のキューブが１個と１のキューブが１個など）に結びつけ、また、レールに一列に並べて多い・少ないを比べられるようにします。



［３］用意するもの（各グループ。）

・ボール３～５個　新聞紙をまるめて色ガムテープで包む。

・段ボールの箱　中を９つに仕切って、それぞれの場所に得点（数字とキューブ）を書いた紙を貼っておく。図と写真参照。

・得点の箱（キューブの入れ物　写真）　１，２，３，４，５の５種類のキューブを入れる箱。

一つの得点箱には、以下のキューブを入れます。３箇所では、この３倍が必要。

５のキューブ（赤）…２５個
１のキューブ…２０個
２のキューブ…２０個
３のキューブ…２０個
４のキューブ…２０個
※不足に備えて、予備を用意しておく。

・得点レール　左端に子どもの名札を置き、得点したキューブをレールに一列に並べていきます。

［４］ゲームの進め方

・３グループに分かれます（１グループが８－９人）

・テーブルに得点の箱と得点レールを置きます。その近くに段ボールの箱を置く。

・箱から１メートルくらいに線を引き、ボールを投げる位置とします。

・順番にボールを箱に向かって投げる。

・投げ終わった子は、得点のかずとおなじだけ得点箱からキューブをとって、得点レールの自分の名札の欄に並べます。

・３巡したらみんなでテーブルの周りに集まり、得点レールを見ます。